

幌延町地域情報通信基盤整備事業

光ファイバー網がつつなぐ幌延の未来

先月号で、町が今年度実施する『幌延町地域情報通信基盤整備事業』の概要についてお知らせしました。

今月号では更に詳しく、事業に至るまでの経過やこの事業を行うことによつてどのようなメリットがあるのか、お知らせします。

事業を実施するにあたり経過

携帯電話によつていつでも、どこでも連絡がとれ、インターネットで世界とつながっている現代社会では、情報通信網の整備は必要不可欠なものとなっています。しかし、幌延町のよ

と周辺地域の間で情報格差が大きな課題となつていました。

また、テレビ放送が平成23年7月から地上デジタル放送へ完全移行します。これに伴い、今のままではテレビをまったく見ることができない世帯が出ることもわかつています。

町では、こうした情報格差の解消を図るため、平成21年度に総務省の補助事業である「地域情報通信基盤整備事業」を実施することにしたものです。さらに、平成21年度の「経済対策公共投資臨時交付金」の交付も受けられましたので、総工費9億円を越える大きな事業ですが、町の出費を最小限に抑えるようにしています。

どんな工事をするのか

この事業では、町内の全世帯を結ぶ光ファイバーケーブルを敷設します。これにより、情報格差の是正が図られ、全ての世帯でブロードバンド環境を活用いただけます。

工事は、地域情報通信基盤整備事業で敷設した光ファイバーケーブル幹線を、全ての世帯へ延長する工事と、各世帯への機器収納ボックス及び機器の設置工事、その機器収納ボックスまでのケーブル引込線工事となります。

町内全域を結ぶとなると、相当な距離となりますので、工期も今年度いっぱいとなり、道路や皆さんのご家庭の敷地内などでの工

事も行われますので、ご理解とご協力をお願いします。

事業を実施するメリット

この事業では、先月号でもお知らせしましたように、地上デジタル放送の難

視の解消、双方向告知通信システムによる情報の伝達、高速インターネット環境の利用といった3つのことを実施します。

今回は、この3つの事業について、もう少し詳しくお知らせします。

